

みんなの健康ラジオ

『膀胱炎①』

(2021年8月19日放送)

横浜市泌尿器科医会

綱島泌尿器科・内科クリニック

大隅 信幸

膀胱炎とは主に細菌が尿道を介して膀胱内に入り、膀胱粘膜に炎症を起こすことです。主に基礎疾患のない単純性膀胱炎と尿路結石や腫瘍など基礎疾患が原因となりうる複雑性膀胱炎に分けられます。

まず単純性膀胱炎に関して、主に大腸菌や腸球菌などの直腸の常在菌が原因です。細菌は尿道を上行して感染を起こします。症状は排尿痛、残尿感、頻尿、血尿などです。男性は尿道が20cmくらいですが女性は3cmくらいと短いです。よって女性のほうが膀胱炎になりやすいのが特徴です。

放置すると腎臓まで炎症がひろがり、熱発、背部痛、全身倦怠感がでたりします。まれに敗血症といって菌が全身にまわることで多臓器の機能不全を誘発し重篤な状況に陥ることもあります。排尿時の中間の尿検査にて細菌感染の指標である白血球、赤血球を同定することで診断します。どのような菌がいるか培養・同定してその結果をもとに適切な抗菌剤を選択します。

治療は適切な抗菌剤を3-5日間内服することでほとんどすぐに改善します。ただし症状が長引き、抗菌剤を継続したり、変更したりしても改善しない場合、他の原因となりうる疾患が存在する可能性がありますので注意ください。

しかし治癒直後は再発しやすいので治癒後1週間は飲水を多くして排尿回数を増やすなどの体調管理が大事です。日頃の再発予防としては排尿を我慢しない、体を冷やさない、体調管理をすること、陰部の衛生状態を保つ、例えばおりものシートや尿もれパットなどのこまめな交換、性交渉後はすぐに排尿し、細菌を洗い流すことなどが大事です。